

旧幡生ヤード跡地に現れた謎の白い建物

下関市教育センター 3月22日オープン

実は、教育委員会の庁舎です

中核市である下関市は、地域の教育課題に即した教職員研修を自ら企画・立案し、実施しなければならぬと法律で定められています。これに加え、教職員の年齢構成上、近年、大量退職・大量採用の時代を迎えていることから、若手教員の資質向上を早急に行う必要があります。

下関市では、公民館などを会場として教職員研修を行っています。市民の公民館活動に影響を与えてい

たことに加え、研修を担当する指導主事(※)が研修内容の充実に充てる時間を、会場の確保や準備、移動などに割かざるを得ない状況にありました。

教育の中心的施設として教職員の研修・研究機能、教育相談機能と教育委員会事務局機能とを併せ持ち、これらの課題・問題を解決するための施設が「下関市教育センター」です。

※指導主事：教育委員会事務局に置かれる職種の一つで、学校教育に対する専門的な指導事務に従事します





教育長
波佐間 清

このたび、待望の下関市教育センターが完成し、教職員の研修を効果的・効率的に行い、教職員自らが研究などの自己研さんを行うための体制ができました。

今後とも「夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志 ~とともに学び ともに育み 未来を創る 下関の教育~」という下関市教育理念の下、子どもたちの未来のため、教育のさらなる充実・発展に努めてまいります。



教職員研修の様子(海峡メッセ下関)

下関市教育センターの機能紹介



●研修・研究機能

学校は、子どもたちの成長過程において大きな役割を担う集団生活の場です。学校が直面する課題は、社会背景や地域の実状によってさまざまであり、教育に対するニーズは多様化、複雑化しています。

このような課題・ニーズに対応するため、教職員一人ひとりの適性や能力などに応じて資質・能力を高める必要があります。

下関市教育センターでは、教職員の経験に応じた研修や、専門的な知識・技能を習得するた

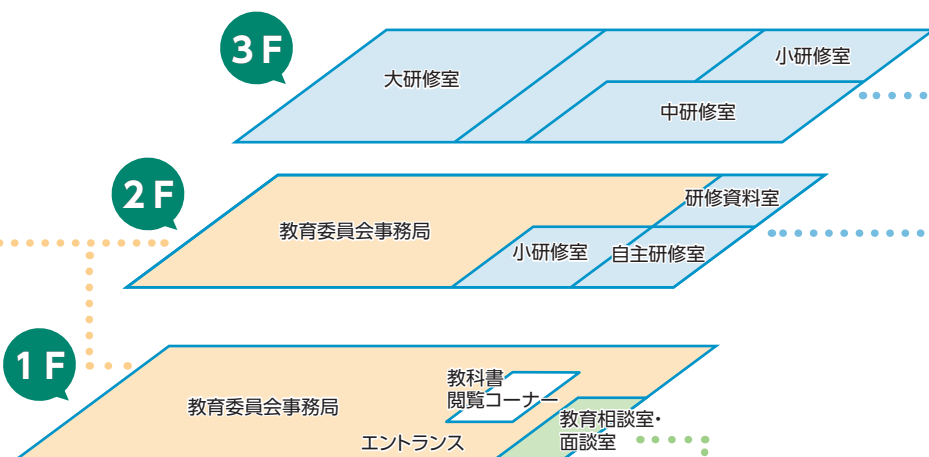
めの研修を実施します。

教育委員会が主催する研修の他に、同じ教科などを担当する教職員同士が情報を共有し、教科などに関する研究を深め、専門性を高めることを目的とした研修や、市内の教職員が講師となつて、夜間に「わくわく教師塾」という自主的な研修なども行っています。教職員が主体的な研修・研究に取り組むためのスペースも設け、これらの活動を組織的にバックアップする体制を整えています。

●教育委員会事務局機能

平成23年2月から上田中町庁舎(旧下関図書館)3階で業務を行っていた教育委員会事務局の一部が3月22日から下関市教育センターに移転し、業務を行います。

研修・研究機能、相談機能と教育委員会事務局機能を一体的に整備・運営することにより、各学校や学校現場の教職員に対する支援体制を一層強化します。



下関市教育センターで受け付ける主な手続きなど

- ・指定校変更の申請
- ・就学援助費の申請(医療費・給食を含む)
- ・学校への寄付採納
- ・生涯学習まちづくり出前講座の申し込み
- ・ユネスコ英会話教室の申し込み
- ・下関市教育委員会後援・共催名義使用承諾の申請
- ・教育長賞の交付申請

●教育相談機能

不登校や学校に適應できない、経済的な問題を抱えているなど、児童・生徒やその保護者の抱える悩みは多様化・複雑化しています。

これらの悩みを解決するため、個別の教育相談を行います。